

研究課題名	Smart Eye Camera と CASIA での前房深度計測結果比較について
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	今回、府中アイセンターでは有水晶体眼に対して Smart Eye Camera (SEC) と CASIA での前房深度をした計測患者さんの測定結果を比較調査することになりました。 前房深度は眼科医が細隙灯顕微鏡で観察したり、現在のゴールドスタンダードとも言える CASIA といった高額な計測機器を使わないと測定が難しく、眼科の医療機関以外では測定が難しいという現状がありました。このたび、非眼科医でも容易に撮影可能な SEC で測定した前房深度の精度について調べるべく当院当科にて臨床研究を行うことと致しました。 ・ 上記の治療の対象となると判断した患者さんで、一定の基準を満たされている患者さんへこの研究へのご協力をお願いしています。 ・ 今回の研究に関して患者さんの診察時データを診療録から抽出して調査を行いますので、患者さんに侵襲が及ぶ研究を行う訳ではありません。 ・ 個人名は研究用に付与される番号等で匿名化し、個人情報公表されることはありません。 ・ 本研究に同意されない場合、同意を撤回された場合でも、診察内容に関して何ら変わることはありません。また、本研究はいつでも撤回でき、撤回しても患者さんに不利益は起こりません。 ・ この研究は府中病院の URL で情報公開しています。患者さんが希望される場合は学会での研究成果、研究計画書の閲覧が可能です。 ・ 当研究において追加の研究が将来必要であると考えられた場合は改めて倫理委員会の審査を受け、重要な研究結果が出た場合は、直接患者さんにお伝えする、または上記 URL で情報公開いたします。尚、この研究は府中病院単独研究であるため、情報の2次利用のための保存は厳重に管理し、他病院への情報提供の可能性はありません。 患者さん、またはその関係者の方から不明な点がございましたら府中病院府中アイセンターにご相談ください。
研究対象者	有水晶体眼で CASIA および SEC にて前眼部の写真を撮影した患者 ※除外基準 ・ 無水晶体眼 ・ 意思疎通が難しいなどの理由で上手く計測実施がおこなえない患者
利用又は提供する試 料・情報の項目	CASIA と SEC を用いて前房深度を測定して、実際にどの程度正確に測定できているのかを検証する。
研究予定期間	承認日～2026 年 8 月 30 日（700 眼）
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究は府中病院 眼科のみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	府中病院 府中アイセンター センター長 下村 嘉一

(研究書式 14)

研究に協力したくない場合	本研究に同意されない場合、同意を撤回された場合でも、診察内容に関して何ら変わることはありません。また、本研究はいつでも撤回でき、撤回しても患者さんに不利益はございません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	府中病院 府中アイセンター（眼科棟） 医師 水上 貴裕 〒594-0076 大阪府和泉市肥子町 1-10-17 TEL：0725-43-1234（代）